

令和6年度一般会計当初予算を解説！

「だれもが幸せなまち

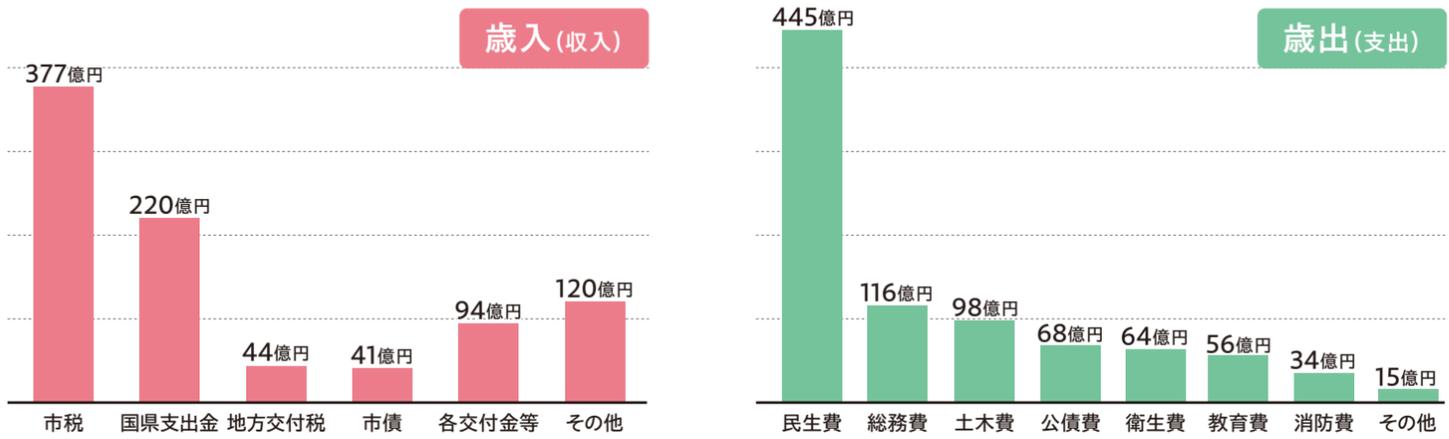


草加」実現へ

この特集では、令和6年度当初予算の中から市の主要な取組や、今後の見通し、市長の考えをわかりやすく解説していきます。

1年間で使う予定の金額 **895億6,500万円**

この金額は、令和6年度一般会計当初予算額です。一般会計とは、福祉サービスや道路の整備など、皆様の生活に関わる事業で使用する予算のことです。



01 未来を切り拓く主な事業

令和6年度に行う市の主な取組の中から、市民の皆様にも関わりの深い8つの事業を抜粋してご紹介します。

市民一人ひとりを取り残さない



福祉なんでも相談窓口の設置

「だれ一人取り残さない」福祉を実現するために、だれもが安心して相談できる窓口として、「まるごとサポートSOKA」の機能を拡大充実し、支援体制の整備を図ります。



福祉プラスのまちづくりの推進

障がい者の社会参加促進等につながる民間主導の取組を創発し、暮らしの豊かさや地域社会のつながりを実感できる地域共生社会の実現を目指します。

子どもたち一人ひとりを大切にする



こどもまんなかそうかの推進 (こども提案モデル事業)

子どもの声を聴き、未来を担う子どもの思いや提案を形にし、まちづくりにいかす仕組みを構築します。



こども医療費の支給対象を18歳まで拡大

令和6年4月から子どもにかかる医療費の自己負担分の支給対象期間を「通院・入院ともに18歳年度末」までに拡大します。

市民一人ひとりの命と身体、財産を守る



水害対策の強化

浸水センサーの設置や内水氾濫に対応するための排水ポンプを整備するとともに、老朽化している排水施設の改修・維持管理により水害対策を推進します。



消防庁舎の整備

草加消防署の老朽化が顕著であるため、まつばら綾瀬川公園南側公共用地に草加消防署新庁舎を整備します。

稼ぐ力で活力ある地域経済の実現



(仮称)柿木・青柳エリアグランドデザイン策定

市北東部スポーツ施設整備やそうか公園のリニューアルなども見据え、エリア価値向上のため「(仮称)柿木・青柳エリアグランドデザイン」の策定を進めます。



地域まちづくり推進事業

市、獨協大学、UR都市機構、東武鉄道(株)、民間企業、地域住民が一体となって、獨協大学前(草加松原)駅西側地域のエリアプラットフォームを構築し、未来ビジョンの策定を進めます。